

カナダの付加価値税におけるインボイス制度と仕入税額控除
(事前概要版レジュメ¹)

日本租税理論学会 2024 年度研究大会
2024 年 10 月 19 日
篠田 剛 (立命館大学)

はじめに

- ・ カナダでは 1991 年に連邦レベルで付加価値税 (GST) が導入されて以来、世界的に見ても特殊な消費課税システムを発展させてきた。一国のうちに、連邦レベルの GST のみを課す州、連邦の GST と州の売上税を統合した州、州の小売売上税を残した州、独自の付加価値税を導入して GST の徴収も担う州が併存する、多様な消費課税システムである。
- ・ このような多様な消費課税システムが形成されたのは、GST 導入の際の政治経済的背景、州間の競争関係、州内の経済的社会的条件、州の課税自主権に対する姿勢が複雑に絡み合った結果であった (篠田 2012、篠田 2013)。
- ・ Bird and Gendron (2010) は、多様なながらも機能するこのカナダの消費課税システムを「GST-HST-QST-RST “System”」と呼んでいる。しかしながら、こうした多様性は税制の複雑さを不可避にする。
- ・ 本報告では、カナダの複雑多様な消費課税システムがどのように機能しているのかに関心を払いながら、日本と同様にインボイス制度を採用するカナダで、インボイスや仕入税額控除 (ITC) をめぐって生じている問題について見ていく。その上で、そうした問題がカナダ固有の問題なのか、それともインボイス制度そのものに関わる問題なのかを検討したい。

1 カナダの消費課税システムの特徴と仕組み

(1) カナダの消費課税システム

- ・ カナダの付加価値税の税率と付加価値税収比率 (VRR)
- ・ 連邦レベルの付加価値税——GST の概要
- ・ GST-HST-QST-PST システム——連邦と各州の消費課税

(2) 州を跨ぐ取引と付加価値税の仕組み

- ・ GST/HST における課税の仕組み
- ・ GST と QST における課税の仕組み
- ・ 異なる制度の州を跨いだ取引の事例 (1)

¹ 当日はパワーポイントにて報告。ハンドアウトの配布あり。

- ・ 異なる制度の州を跨いだ取引の事例 (2)

2 カナダにおけるインボイス制度と仕入税額控除

(1) 仕入税額控除 (ITC) の要件

- ・ 支出の種類と「商業活動」割合
- ・ ITC の否認規定

(2) ITC をめぐる問題——過大請求の規模と実態

- ・ カナダ歳入庁 (CRA) による推計

3 ICT をめぐって争われた裁判事例

(1) 事件の分類と分析 (Kessler 2020)

- ・ 資格または代理人／商業活動／書類不備／詐欺
- ・ general procedure／informal procedure

(2) 裁判事例の分析からの示唆

- ・ ITC 申請事業者にサプライヤーのチェックを求める傾向の強まり
- ・ ITC の否認に積極的なケベック州
一方で「attestation de Revenu Québec」の導入

(3) 小規模企業のコンプライアンス・コスト

- ・ 国際比較 (Evans et al. 2014)
- ・ カナダの特徴

4 おわりに——カナダに特殊な課題とインボイス制度そのものが孕む課題

- ・ カナダの複雑多様な消費課税システムとコンプライアンス・コスト
- ・ カナダで生じた ITC をめぐる問題はインボイス制度採用国に共通するものも多い
- ・ ケベック州の ITC 否認への積極性は税務行政への負担と関係している可能性も
 - 同州は QST だけでなく GST の税務も州が担っている
 - 一方で州独自の証明書を導入して事前にリスクを回避する取り組みも
- ・ インボイス制度はクロスチェックが働くことが長所と言われてきたが、カナダの事例からも、実際には ITC をめぐって課題も多いことが分かる
 - 電子インボスの導入に期待が寄せられているがどう評価するか

<主要参考文献>

- Bird, Richard M. and Michael Smart(2014), "VAT in a Federal System: Lessons from Canada", *Public Budgeting & Finance*, Winter 2014, pp. 38-60.
- Bird, Richard M. and Pierre-Pascal Gendron (2010), "Sales Tax in Canada: The GST-HST-QST-RST 'System'," *Tax Law Review*, 63(3), pp. 517-582.
- Evans, Chris, Ann Hansford, John Hasseldine, Philip Lignier, Sharon Smulders and Francois Vaillancourt (2014), "Small business and tax compliance costs: A cross-country study of managerial benefits and tax concessions," *eJournal of Tax Research*, 12(2), pp.453-482.
- Kessler, Cody (2020), "Taxpayer Non-Compliance with Input Tax Credit Rules: Data and Policy Options for Canada," *Canadian Tax Journal*, 68(3), pp. 751-800.
- OECD (2022), *Consumption Tax Trends 2022: VAT/GST and Excise, Core Design Features and Trends*, OECD Publishing, Paris,
- Rocha, Melina (2022), "Policy Forum: How Canada Could Benefit from E-Invoicing for GST/HST Purposes," *Canadian Tax Journal*, 70(2), pp. 361-373.
- Smart, Michael and Richard M. Bird(2009), "The Economic Incidence of Replacing a Retail Sales Tax with a Value-Added Tax: Evidence from Canadian Experience", *Canadian Public Policy-Analyse de Politiques*, 35(1), pp.85-98.
- 篠田剛 (2012)「カナダの消費課税システムにおけるケベック売上税 (QST) —QST 導入過程の分析を中心に」日本財政学会編『財政研究第 8 巻 社会保障と財政—今後の方向性』有斐閣、pp. 176-198。
- 篠田剛 (2013)「カナダにおける売上税制調和と州の課税自主権—オンタリオ州とブリティッシュ・コロンビア州を中心に」『商経論叢』第 64 号、pp. 1-27。
- 篠田剛 (2017)「地方消費課税における税制調和と課税自主権—カナダにおける多様な連邦・州消費課税システムの形成過程と米国への示唆」日本租税理論学会編『租税理論研究叢書 27 消費課税の国際比較』財経詳報社、pp. 84-105。
- 日本税理士会連合会・国際税務情報研究会 (2020)『カナダ税制視察調査報告書』3 月。
- 持田信樹・堀場勇夫・望月正光 (2010)『地方消費税の経済学』有斐閣。